

取組状況・成果

【平和都市の推進】

- 区民に平和の大切さや戦争の悲惨さを啓発するため、平和展（戦争関連パネル及び戦遺品等の展示）、平和のポスター展、平和コンサート、平和の語り部派遣等の事業を行っています。
- 毎年、小学4年生～中学3年生の子どもとその保護者7組14名を広島と長崎へ交互に派遣し、原爆死没者慰霊式等への参列や被爆体験講話などにより、平和への意識啓発を図るとともに、平和派遣者報告会等を通じて区民にその思いを広く伝えています。
- 地域での平和意識の高揚を図るため、「新宿区平和派遣の会」（区民団体）と協働し、平和講演会・映画会、すいとんを食べる会、平和マップウォーキング等を開催しています。
- 平和を希求する他の自治体と連携し、核廃絶と世界の恒久平和を訴えるため、平和首長会議及び日本非核都市宣言自治体協議会に加盟し、総会・研修会等に参加しています。

現状・課題

【平和都市の推進】

- 戦後70年以上を経過して、次代を担う子どもたちに戦争の悲惨さをどのように継承していくか、また、平和の大切さをどのように伝えていくかが課題です。
- 時間の経過によって戦争がもたらす悲惨さを風化させることがないよう、平和の大切さや平和への思いを、世代を超えて共有し、認識を一層深めていくことが重要です。
- 平成27年度に「新宿区平和都市宣言」から30周年を迎えたことから、改めて宣言の趣旨を区民に周知し、認識を深めていくことが大切です。

目指すまちの姿・状態

「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づいて、区民一人ひとりが平和の大切さと戦争の悲惨さへの認識を深め、平和を守っていくまちをめざします。

施策の方向性

【平和都市の推進】

- 終戦から70年以上が経過し、区民の多くが戦後生まれとなり、戦争を体験された方が70歳代を超えることから、空襲や疎開の体験、戦争中の苦しい経験などを、伝え、残していく取組みを進めていきます。
- 「新宿区平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、区民一人ひとりが、平和の尊さと戦争の悲惨さを認識し、平和を守っていく意識を高めるため、様々な事業を通じて、平和への意識の普及啓発に取り組んでいきます。

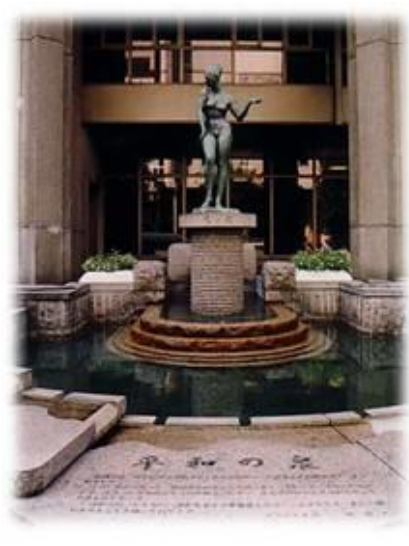
（図表1：平成27年度「平和のつどい」の概要）

開催日・開催場所など	内容など
平成28年3月27日（日） 14時～16時 新宿文化センター （大ホール） 参加者数 1,200名	区民の戦争体験談、若者・外国籍の方による平和のメッセージの紹介。倍賞千恵子、ジェロ、若手アーティスト、早稲田少年少女合唱団などの歌とお話により、参加者が平和の大切さを共有するイベント。

（平和の灯・平和都市宣言版）



（平和の泉・平和祈念像）



【27年度 広島】

（親子の平和派遣）



【28年度 長崎】

